（資料１）

スマート畜産技術のイノベーション・普及に関する検討会（第３回）議事次第

令和８年 11 月２日（月）10:30～12：00
農林水産省第一特別会議室

１．開　　会

２．副大臣挨拶

３．有識者等による話題提供及び意見交換

①「データ連携により実現する国際競争力向上」
（丸紅（株）　佐竹 啓雅 氏）

②「U-motion を通じた生産現場のデータ活用・連携と、AI による今後の構想」
（デザミス（株）　松本 智行 氏）

③　生産者アンケート結果について

４．中間とりまとめの方向性に関する意見交換

５．閉　　会

（資料２）

スマート畜産技術のイノベーション・普及に関する検討会
（第３回）出席者名簿

【有識者】（※プレゼンあり）

丸紅（株）穀物油糧部 事業開発課 担当課長	佐竹 啓雅（※）
丸紅（株）穀物油糧部 事業開発課	
（兼）デジタル・イノベーション部マネージャー	櫻井 裕規
デザミス（株）経営企画室 室長 兼 政府渉外担当（GR）	松本 智行（※）
AguSophy 合同会社 CEO	池口 厚男
一般社団法人 AI ロボット協会 CTO	松嶋 達也
農研機構　畜産研究部門　研究推進部　研究推進室長	石田 三佳

（敬称略）

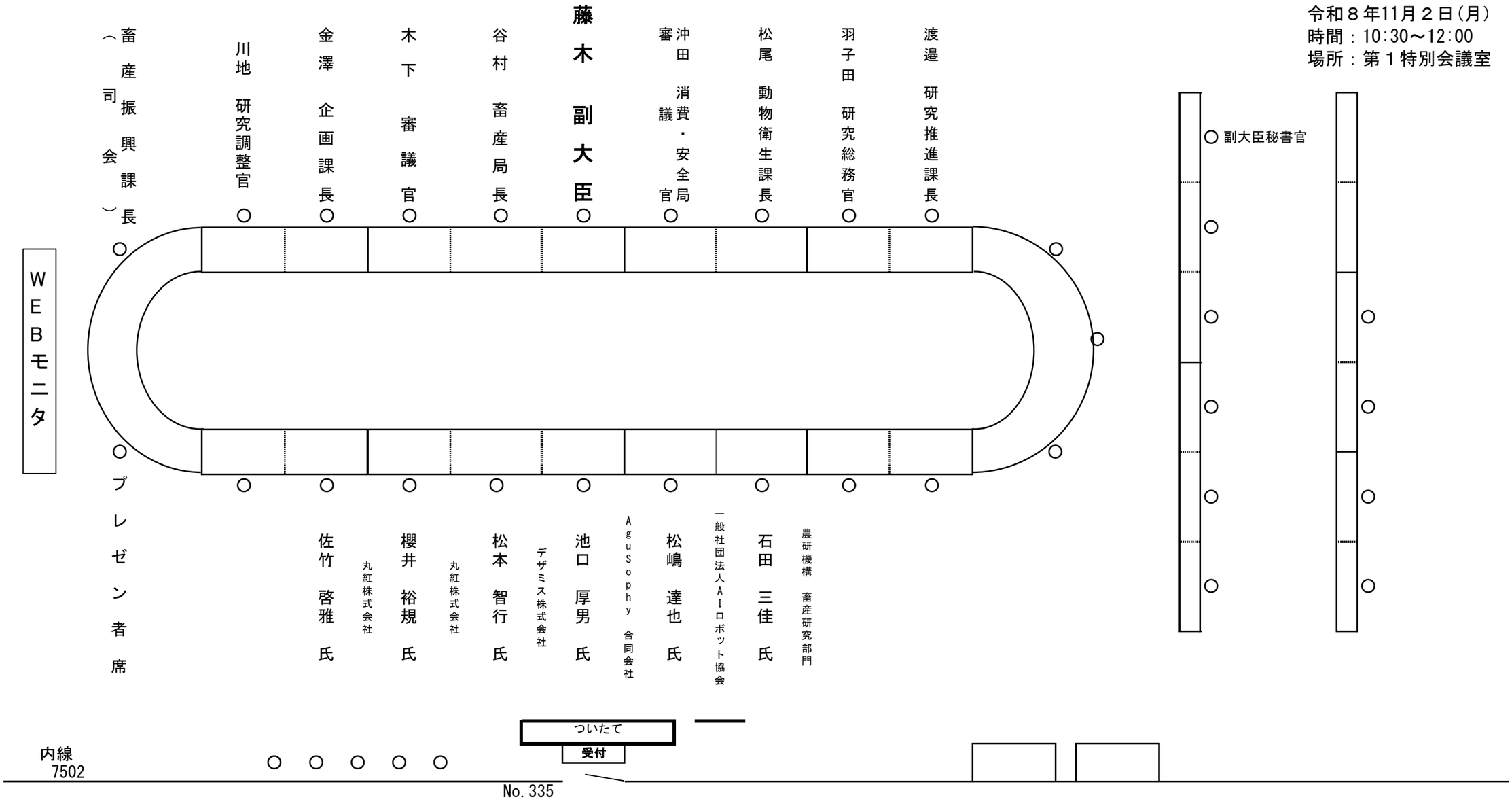
【農林水産省】

農　林　水　産　副　大　臣	藤木 眞也
畜　産　局　　畜産局長	谷村 栄二
畜　産　局　　審議官	木下 雅由
畜　産　局　　企画課　課長	金澤 正尚
畜　産　局　　畜産振興課　課長	上田 泰史
消費・安全局　審議官	沖田 賢治
消費・安全局　動物衛生課　課長	松尾 和俊
農林水産技術会議事務局　研究総務官	羽子田 知子
農林水産技術会議事務局　研究推進課　課長	渡邉 麻衣子
農林水産技術会議事務局　研究統括官室　研究調整官	川地 太兵

（資料3）

スマート畜産技術のイノベーション・普及に関する検討会（第３回）座席表

令和８年11月２日(月)
時間：10:30～12:00
場所：第１特別会議室



（資料４）

スマート畜産技術のイノベーション・普及に関する検討会　設置要領

令和８年６月 23 日制定

１．趣旨

畜産業は、夜間の分娩監視等の労働負担が大きく、疾病発生予防等の高度な対策も求められることから、持続的な発展と畜産物の安定供給を確保するためには、飼養衛生管理の省力化や効率化、高度化が不可欠である。これらの課題を解決するため、畜産分野では各種ロボットやセンシング技術を用いた繁殖管理等のスマート畜産技術が開発されてきたが、今後も労働力の不足や高齢化の進行が見込まれる中、AI の更なる活用も含めたスマート畜産のイノベーションを進め、開発された技術を普及していくことが必要である。

こうした状況を踏まえ、今後のスマート畜産技術開発の方向性等について官民連携して幅広く検討することを目的として、スマート畜産技術のイノベーション・普及に関する検討会（以下「検討会」という。）を設置する。

２．検討事項

（１）スマート畜産技術の現状と課題

（２）スマート畜産技術を活用した家畜衛生の高度化

（３）スマート畜産技術による飼養衛生管理の省力化・効率化

（４）スマート畜産技術開発の方向性

（５）AI 等を活用した畜産の目指すべき姿

（６）その他

３．検討会の構成

検討会は、以下の者から構成する。

（１）農林水産省関係課

畜産局　企画課・畜産振興課

消費・安全局　動物衛生課

農林水産技術会議　研究推進課・研究統括官室

（２）国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構

（３）検討テーマに応じたスマート畜産技術の開発・提供を行っている民間事業者等のスマート畜産技術及び AI に関する有識者

４．検討会の運営

（１）検討会は原則として冒頭のみ公開とする。

（２）配布資料及び議事概要は、会議終了後、出席者の了解を得た上で、農林水産省ホームページで公表する。ただし、出席者からの配布資料であって、当該者が非公開を希望したもの及び検討会において非公開とすることが適当であると認める資料についてはこの限りでない。

（３）検討会の事務局は、農林水産省畜産局畜産振興課において行う。